



【信じる力の強さ】

ボスニア世界大会を振り返って

ラフティング世界大会が終わり、沢山の方々からお便りや電話を戴き、あらためて我々が多くの方々に支えられていた事を実感している。頂いたお便りの中で、『夢に向かって取り組む事が出来るのは皆ではない、だからこそあなた達は後悔しないよ』というものがあった。今振り返ると、今会の大会で実はこの『信じる力が全てを生み出す』事を経験した事が何よりも大きな財産だと思っている。意気揚々と挑んだ世界大会だが2日

目を終え、総合6位だった時はかなり精神的に追い込まれていた。結果がどうこうというよりも、スタートの順番や組み合わせや、ペナルティをもらう等、勝負の風は明らかに我々日本に吹いていないように思われたからだ。しかし私はその事が逆に我々の信じる力を天に試されていると感じていた。だからこそ選手には『どんなことがあっても何があっても最終的には表彰台の一番上にいる事だけを信じて！』と言い切っていた。なんの根拠もないのに。しかし『信じる』と口で言うのは簡単で、問題はその後。『信じる』と、そう言い切った瞬間から自分の『自我の声』が聞こえてくるのだ。『自我の声』は『信じる』が出来ない理由を次々に上げてくる。曰く、『お前自力優勝は無いこの順位から本当に優勝できるとおもっているのか？』『あのチームは日本より速いと思わないか？』『今まで勝った事のないスラロームで本当に勝てるのかのか？』 Etc, Etc. . . 次から次へとその『自我ちゃん』が自分に語りかけてくる。その都度自分ただ『わかりました。自分は優勝し

ます。ありがとうございます。』と自分に言い聞かせて(念じて?)いた。今思い出すだけでもその自我との葛藤の時間は本当に狂いそうな程ツラかった。『敵は我にあり』という事を十分すぎるほど実感できた。思えばあれは、言わばフィナーレを迎えるための『最終試験』だったのだと今は思う。そして最後のスラロームの決戦前日に初めてそこから抜け出した。自分の自我と向き合う事を辞めた時、でもあきらめた訳ではない、手放す、とでも言うのだろうか、自分の精神状態が明らかに変わった。『全ての結果は決まっている。全てはうまく運ぶ』魂の底からそう感じた。それ以降、万人の観衆も身長2メートルの海外の選手も全てが小さく見え、自分が上から大きく見守っている不動の存在となった気がした。全てはもつともつと大きな所で動かされている。選手には『何をやっても大丈夫！絶対明日は物凄いレースが出来るから』と何のためらいも無く言いきれれる自分がいた。そして最終日スラロームレースの日に我々に起こった事は一生忘れることが出来ない。

IRF・ラフティング世界大会・ボスニアヘルツェゴビナ H21.5.18~24

結果:全35カ国・55チーム(男子32、女子23チーム) 下記は男子の上位10チームの成績

国	タイムトライアル	スプリント	スラローム	ダウンリバー	総合順位
ブラジル	1	5	6	2	1位
日本	3	13	1	5	2位
イギリス	8	1	4	11	3位
ロシア	15	3	11	3	4位
チェコ	7	10	3	8	5位
アメリカ	5	2	13	6	6位
ドイツ	24	24	2	4	7位
ハンガリー	6	16	25	1	8位
スロベニア	13	7	7	10	9位
イタリア	12	8	9	9	10位

大会詳細: 日本ラフターズ協会HP <http://www.japanrafting.org/> 大会動画: <http://blog.asanoshigeto.com/?eid=50>



Onishi 尾西食品株式会社

スタートした日本男子チームが光の中に消えていくのを自分は見た。それを見届けて勝利を確信した自分はただゴールで選手達を待つていた。選手達がどのようなレースをしていたのかは知らない。あの状態が神と一体となったのかどうかは分からないが、確実にいえるのは、どんな状況でも『信じること』を続けた結果、『信じること』を超えた境地に行けたのだ。そして、『日本が勝つ事は絶対にムリ』と言われ続けていたスラロームで一位を獲得し総合では準優勝となった。我々は優勝するという目標は達成できなかったがそれよりも大切なものを与えられた。それは『信じる力が全てを生み出す』という気付き。自分を信じる、仲間を信じる、夢を信じる、未来を信じるということ。だからこそ自分は『誰もが夢に向かって取り組む事ができる』と言いたい。その事を出会う人全てに伝え続ける事こそが、あのような場を与えて頂いた自分に課せられた使命だと確信している。私は、全ての人が希望の未来に向かって事を信じます。ありがとうございます

メディア露出情報  
ターザン541号 (現在発売中)



カヌーライフ4号 (現在発売中)



BSニュースバード  
「ニュースの視点」  
テレビ放送 (放送済)

＋のエネルギーで行こう！

その他

最近立て続けに伊豆・関東地方で地震が起きている。実は私自身、今年の3月くらいからよく夢などで地震の事を見させられる。その事は人間がこの地球を本当にどうするのだ？と地球から問われている気がする。

私は地震を含め自然災害は天災では

感謝御礼

皆様のおかげで世界大会準優勝を達成しました。練習環境をサポート

ただいている湘南マリーナの中谷さん、チーム結成以来カヌーの指導を

いただいている大河コーチ、スラローム技術を共に研究する御岳カヌー

クラブの小田コーチ、初動負荷トレーニング小山先生とコーチ陣、大切

な知恵の師匠である地球創生の吉岡

さん、99年よりご支援くださるア

リーナの斎藤さん、美味しいご飯を

作ってくれる居酒屋さきのマスター、

レースラフティングを支え続けている

るカップクラブ小橋さんODS北川

さんABC今牧さん、心暖かいバラ

ンズアクトリイの皆様、カメラマン

西川さんに出会わなければ今の私は

無いでしょう。世間知らずの私に知

恵と叱咤激励をくれる鍋先生と恭子

さん、そしてどんな時でも一番下で

支え続けてくれる私と選手の家族、

出会った全ての方々にも心より感謝

いたします。

なく人災だと思っている。どういう事かという環境破壊云々の問題だけではなく、この地上にすむ人間の思考、想念などのマイナスエネルギーが地球に影響し、自然災害となつて現れているのだと思う。人間だつて人ごみの中でストレスを感じ、病み、時にはフラストレーションを散して人にあたるでしょう。そんな時に自然の中に出かけると癒される。自然自体が巨大なエネルギーの循環濾過器の役割を果たしているからだ。しかし地球だつて生きているのだから自分を浄化しようとするのは当たり前だろう。もし自分が地球だつたら同じ事をするとと思う。相変わらず世の中には人々の不安を煽る情報が溢れているがそれに捕らわれる必要は無い。暗いニュースがあれば同じ数だけ明るいニュースがある。出来事に意味を与えるのは自分次第だ。だとしたら自分にとって人にとって社会にとって地球にとって発展的となる意味を与えましょう！